

授業科目

高齢期障害作業療法学演習

担当教員名 能村 友紀	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	◎

授業の概要

1. 高齢者に対する作業療法の対象者特性を理解する
2. 高齢者に対する作業療法介入に必要な基礎知識・技術を習得する

授業の目的

高齢期障害のある対象者に対する作業療法を実践できるために、作業療法の援助法を修得する

学習目標

1. 高齢者に対する作業療法の役割とプロセスを説明できる
2. 高齢期の作業療法の援助技術について説明できる
3. 個別・集団における作業療法プログラムが立案、実施することができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	高齢に対する作業療法援助	講義	能村 友紀
2	高齢者に対する身体活動（1）	演習	能村 友紀
3	高齢者に対する身体活動（2）	演習	能村 友紀
4	高齢者に対する身体活動（3）	演習	能村 友紀
5	高齢者に対する身体活動（4）	演習	能村 友紀
6	高齢者に対する作業活動（1）	演習	能村 友紀
7	高齢者に対する作業活動（2）	演習	能村 友紀
8	高齢者に対する作業活動（3）	演習	能村 友紀
9	高齢者に対する作業活動（4）	演習	能村 友紀
10	高齢者に対する集団活動（1）	演習	能村 友紀
11	高齢者に対する集団活動（2）	演習	能村 友紀
12	高齢者に対する集団活動（3）	演習	能村 友紀
13	高齢者に対する集団活動（4）	演習	能村 友紀
14	在宅での高齢期作業療法の実際（1）	講義	大越 満
15	在宅での高齢期作業療法の実際（2）	講義	大越 満

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	高齢期作業療法学 第2版	小川恵子編	医学書院	2010年	3,990円	
その他の資料						

評価方法

レポート：80%
実技：20%

履修上の留意点

高齢期作業療法の援助法についてプログラムを立案して演習します

オフィスアワー・連絡先

水曜日10時～13時
nomura@nuhw.ac.jp